

年間学習指導計画作成資料 第1学年

太字=核となる教材 ◎=鑑賞教材 ●=共通教材

大きな学習の流れ	題材名	題材のねらい	活動文	教材名	扱い時数のめやす
<ul style="list-style-type: none"> 新しく出会った友達と声を合わせて歌ったり遊んだりして、学習への意欲を育てるようにする。 音楽を聴いたり歌ったりして、拍の流れを感じ取るなどの音楽的感覚を育てるようにする。 	うたで ともだちをつくろう	<ul style="list-style-type: none"> 音楽活動の楽しさに気づいて、進んで表現しようとする意欲を育てるようにする。 友達と一緒に歌ったり身体表現をしたりする楽しさを感じ取ることができるようにする。 	えの なかから うたを みつけて うたいましょう。 うたいながら なかよしに なりましょう。 おんがくに あわせて みんなで あるきましょう。	うたで さんぽ ぞうさんの さんぽ てと てで あいさつ ◎ みっきい まうす マーチ ● ひらいた ひらいた	11
	おんがくに あわせて あそぼう	<ul style="list-style-type: none"> 歌ったり身体表現をしたりして、拍の流れを感じ取ることができるようにする。 拍の流れを感じながら、簡単なリズムを表現することができるようにする。 	てびょうしに あわせて あそびましょう。 おんがくに あわせて からだを うごかしましょう。 じゃんけんで あそびましょう。 けんぱで あそびましょう。	まねっこあそび ◎ せいじゃの こうしん/たぬきの たいこ ● かたつむり じゃんけんぼん けんけん ぱ ● う み	13
<ul style="list-style-type: none"> 拍の流れに合わせてリズムを表現したり楽器を演奏したりして、表現の基本的技能を身に付けるようにするとともに、音に関心をもって聴いたり演奏したりして、音色に対する感覚を育てるようにする。 楽曲の気分を感じ取ったり、これを生かして表現したりする力を育てるようにする。 	リズムに のって あそぼう	<ul style="list-style-type: none"> 歌ったり身体表現をしたりして、リズムの違いを感じ取ることができるようにする。 拍の流れに乗って、簡単なリズムを表現することができるようにする。 	おんがくに あわせて リズムを うったり おどったり しましょう。 うたの リズムで あそびましょう。 たんと たたの リズムで あそびましょう。 たんと たたの リズムで ことばあそびを しましょう。	◎ しろくまの ジェンカ てを たたきましょう ぶん ぶん ぶん ことばあそび	9
	いい おとを みつけて あそぼう	<ul style="list-style-type: none"> 音や響きの違いに気づいたり、音の出し方を工夫したりして、音に関心をもつようにする。 階名で模唱や暗唱をしたり、これをもとに楽器で演奏したりすることができるようにする。 	どと その おとを ふきましょう。 すきな おとを ふきましょう。 いろいろな おとに きをつけて ききましょう。 きれいな おとで ふきましょう。	どんぐりさんのおうち ばす ばす はしる ◎ みつばちの ぼうけん おとあそび ● ひのまる おちば	9
	ようすを おもいうかべよう	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の気分を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方を工夫することができるようにする。 	こねこの ようすを おもいうかべながら ききましょう。 おほしさまに よびかけるように うたいましょう。 ばめんの ようすを おもいうかべながら うたいましょう。	◎ おどる こねこ きらきらぼし はる なつ あき ふゆ	8
<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を生かして、友達と一緒に歌ったり楽器を演奏したりする楽しさを感じ取るようにする。 	みんなで あわせよう	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の音色や響きを感じ取って、聴いたり演奏したりすることができるようにする。 互いの声や音を聴きながら、拍の流れを感じ取って演奏することができるようにする。 	いろいろな がっきの おとに きをつけて ききましょう。 うたと がっきを あわせて えんそうしましょう。 きれいな おとで がっそうしましょう。 よびかけあって うたいましょう。	◎ かえるの ルンバ とんくるりん ばんくるりん こいぬの マーチ あいあい	14
	のびのびと うたおう	<ul style="list-style-type: none"> 発音や声の出し方に関心をもって歌ったり、みんなで声を合わせて歌う喜びを味わったりすることができるようにする。 	みんなで こえを あわせて うたいましょう。	そろそろ はるですよ	4
巻末	みんなで たのしく	<ul style="list-style-type: none"> 各校が実態に即して弾力的に扱うことのできる教材。 	たなばたさま/おしょうがつ/うれしいひなまつり おむすび ころりん		時数 合計 68
	ものがたりと おんがく		きみがよ		

年間学習指導計画作成資料 第2学年

太字=核となる教材 ◎=鑑賞教材 ●=共通教材

大きな学習の流れ		題材名	題材のねらい	活動文	教材名	扱い時数のめやす
<ul style="list-style-type: none"> 友達と声を合わせて歌ったり遊んだりして、学習への意欲を育てるようにする。 音楽を聴いたり歌ったりして、拍の流れを感じ取るなどの音楽的感覚を育てるようにする。 	うたで ともだちの わを ひろげよう	<ul style="list-style-type: none"> 音楽活動の楽しさに気づいて、進んで表現しようとする意欲を育てるようにする。 友達と一緒に歌ったり身体表現をしたりする楽しさを感じ取ることができるようにする。 	いろいろなくにの ことばで うたいましょう。 いろいろなくにの うたで あそびましょう。 みぶりをつけて うたいましょう。	みんなで 1・2・3 ◎ ロンドンばし／こめむぎあそびうた／おちゃらかほい／小犬のピンゴ ● かくれんぼ えがおで きょうも	10	
	ドレミで あそぼう	<ul style="list-style-type: none"> 歌ったり身体表現をしたりして、拍の流れを感じ取ったり、音高感を身に付けたりすることができるようにする。 階名で模唱や暗唱をしたり、これをもとに楽器で演奏したりすることができるようにする。 	ドレミの たいそうで あそびましょう。 ドレミの 音の たかさを おぼえましょう。 ドレミで うたったり がっきで ひいたり しましょう。 2つの くみに わかれて えんそう しましょう。 うたに あわせて がっきを ひきましょう。	◎ ドレミの うた ドレミあそび かっこう かえるの がっしょう ぶっかりくじら	14	
<ul style="list-style-type: none"> 拍の流れに合わせてリズムを表現したり楽器を演奏したりして、表現の基本的技能を身に付けるようにするとともに、音に関心をもって聴いたり演奏したりして音色に対する感覚を育てるようにする。 楽曲の気分を感じ取ったり、これを生かして表現したりする力を育てるようにする。 	リズムに のって あそぼう	<ul style="list-style-type: none"> リズム譜に親しみ、拍の流れに乗って、簡単なリズムを表現することができるようにする。 拍子やリズムなどの音楽の特徴を感じ取って、身体表現をしたり演奏の仕方を工夫したりすることができるようにする。 	音がくに あわせて からだを うごかしましょう。 3びょうしの リズムに のって あそびましょう。 2びょうしの リズムに のって えんそう しましょう。 リズムを くみあわせて あそびましょう。 リズムに のって からだを うごかしながら うたいましょう。	◎ トルコ こうしんきょく／メヌエット いるかは ざんぶらこ 山の ポルカ リズムあそび ピラミッドの うた	12	
	いい 音を 見つけて あそぼう	<ul style="list-style-type: none"> 音や響きの違いに気づいたり、音の出し方を工夫したりして、音に関心をもつようにする。 音色の違いを生かして音の組み合わせ方を工夫したり、拍の流れに乗って演奏したりすることができるようにする。 	いろいろな 音に 気をつけて ききましょう。 すきな 音を 見つけましょう。 音の くみあわせを かんがえて あそびましょう。	● 虫の こえ ◎ シンコペーテッド クロック 音さがし かぼちゃ	8	
	ようすを おもいうかべよう	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の気分を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方を工夫することができるようにする。 	小犬と さんぼしている ようすを おもいうかべながら ききましょう。 小ぎつねの ようすを おもいうかべながら うたいましょう。	● タヤげこやげ ◎ 口ぶえふきと 小犬 小ぎつね	8	
<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を生かして、友達と一緒に歌ったり楽器を演奏したりする楽しさを感じ取るようにする。 	みんなであわせよう	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の音色や響きを感じ取って、聴いたり演奏したりすることができるようにする。 互いの声や音を聴きながら、拍の流れを感じ取って演奏することができるようにする。 	いろいろな がっきの 音に 気をつけて ききましょう。 うたと がっきを あわせて えんそう しましょう。 きれいな 音で がっそう しましょう。 たがいの こえを ききあって うたいましょう。	◎ 森の 音がくかい えがお かがやいて こぐまの 二月 木のはの ゆうびん	14	
	のびのびと うたおう	<ul style="list-style-type: none"> 発音や声の出し方に関心をもって歌ったり、みんなの声に合わせて歌う喜びを味わったりすることができるようにする。 	みんなで こえを あわせて うたいましょう。	● はるが きた	4	
巻末	みんなで たのしく ものがたりと 音がく	<ul style="list-style-type: none"> 各校が実態に即して弾力的に扱うことのできる教材。 		夕日／とんぼの めがね／シャボン玉 ないた 赤おに		
					きみがよ	時数合計 70

年間学習指導計画作成資料 第3学年

太字=核となる教材 ◎=鑑賞教材 ●=共通教材

大きな学習の流れ		題材名	題材のねらい	活動文	教材名	扱い時間のめやす
巻頭	学年の歌		・年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための歌唱教材。		友だち	
	・音楽活動の楽しさを感じ取って、学習への意欲を高めるようにする。 ・八長調の旋律の視唱や視奏に親しんだり、リコーダーの基本的な奏法を身に付けたりするようにする。	階名になれよう	・旋律を階名で模唱したり視唱したりして、楽譜を見て歌うことに慣れるようにする。	階名で歌いましょう。 階名でおぼえたふしをがっきでひきましょう。	● 春の小川 ドレミで歌おう ● 茶つみ 海風きって	9
	・音の特徴や音色の違いを感じ取ったり、これを生かして表現したりする力を育てるようにする。 ・旋律の特徴や曲想を感じ取ったり、これを生かして表現したりする力を伸ばすようにする。	いろいろな音のちがいをかんじとろう	・音の特徴や音色の違いを感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・イメージに合った音を探して、表現の仕方を工夫することができるようにする。	まほうをかける音をつくりましょう。 金かんがっきの音をききくらべましょう。	● うさぎ おかしなすきな まほう使い ◎ 茶つみ／(かりうどの合しよう／パイエルン ポルカ／トランペットふきの休日)	8
		ふしのとくちょうをかんじとろう	・旋律の特徴を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・旋律の特徴を生かして、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。	ふしのかんじのちがいに気をつけて歌いましょう。 ふしのかんじのちがいに気をつけてききましょう。 なめらかなふしのかんじを生かしてひきましょう。	◎ パード ウォッチング ◎ 馬にのって ● ふじ山 ねむたい こねこ エーデルワイス	10
		曲の気分をかんじとろう	・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。	曲の気分を生かして歌いましょう。 ようすを思いうかべながらききましょう。 曲の気分を生かして合そうしましょう。	ちびっこカウボーイ ◎ ハックルベリー フィン ゆかいな木きん	8
	・歌い方や楽器の演奏の仕方など、これまでの学習を生かして、友達と一緒に表現する楽しさを味わうようにする。	音をきき合って合わせよう	・声や音が重なり合う響きを感じ取って聴いたり演奏したりすることができるようにする。 ・互いの声や音を聴きながら、拍の流れに乗って演奏の仕方を工夫することができるようにする。	いろいろな音のかさなりを楽しみながら、えんそうしましょう。 歌とがっきのひびきをききましょう。 音のかさなりをかんじながら合そうしましょう。	あの雲のように ◎ 二人でおどりましょう パ フ	11
		生き生きと歌おう	・発声や呼吸の仕方に関心をもって歌い方を工夫したり、声を揃えて歌う喜びを味わったりすることができるようにする。	リズムにのって歌いましょう。	きょうりゅうとチャチャチャ あの青い空のように	5
巻末	みんなで楽しく		・各校が実態に即して弾力的に扱うことのできる教材。		かえるのふえ／どこかで春が／七つの子 ももくり三年 かき八年 せかいじゅうの子どもたちが ゴー ゴー ゴー 山ねこバンガロー ミッキーマウス マーチ	
	物語と音楽				かさじぞう	
					きみがよ	時数合計 60

年間学習指導計画作成資料 第4学年

太字=核となる教材 ◎=鑑賞教材 ●=共通教材

大きな学習の流れ		題材名	題材のねらい	活動文	教材名	扱い時数のめやす	
巻頭	学年の歌		・年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための歌唱教材。		子どもの世界		
	・音楽活動の楽しさを感じ取って、学習への意欲を高めるようにする。 ・八長調の旋律の視唱や視奏に慣れたり、日本の伝統音楽に親しんだりするようにする。	歌と楽器のひびきを合わせよう	・旋律の階名視唱や視奏に親しみ、声や音が重なり合う響きを感じ取って演奏することができるようにする。	リズムにのってみんなで合わせましょう。 歌と楽器のひびき合いを感じながら、えんそうしましょう。	● さくら さくら いろいろな木の実 歌のにじ ● とんび	8	
	日本の音楽に親しもう	・旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、日本の伝統音楽に親しむようにする。	きょう土の音楽をさきましよう。 日本のふしを歌いましょう。	◎ 花がさ音頭／神田ばやし こきりこぶし ● まきばの朝	9		
	・音の特徴や音色の違いを感じ取ったり、これを生かして表現したりする力を育てるようにする。	いろいろな音のちがいを 感じ取ろう	・音の特徴や音色の違いを感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・イメージに合った音を探して、表現の仕方を工夫することができるようにする。	いろいろな音を集めましょう。 音の組み合わせをくふうしてえんそうしましょう。 木管楽器の音をさきくらべましょう。	音集め 音のカーニバル ◎ とんび／(パディネリ／ガボット／クラリネット ポルカ)	8	
	・旋律の特徴や曲想を感じ取ったり、これを生かして表現したりする力を伸ばすようにする。	ふしのとくちょうを感じ取ろう	・旋律の特徴を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・旋律の特徴を生かして、レガートやスタッカートなどの歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。	ふしの感じのちがいをさきくらべましょう。 ふしの感じを生かしてえんそうしましょう。 サミングをおぼえて、ふしの感じを生かしてえんそうしましょう。	● もみじ ◎ あいのあいさつ／ピチカート ポルカ 陽気な船長 あたらしい えがお オーラ リー		11
		曲の気分を感じ取ろう	・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。	曲の気分を生かして歌いましょう。 様子を思いうかべながらさきましよう。 曲の気分を生かしてえんそうしましょう。	友だち シンド バッド ◎ つるぎのまい 冬の歌		8
	・歌い方や楽器の演奏の仕方など、これまでの学習を生かして、友達と一緒に表現する楽しさを味わうようにする。	音をきき合って合わせよう	・声や音が重なり合う響きを感じ取って聴いたり演奏したりすることができるようにする。 ・互いの声や音を聴きながら、拍の流れに乗って演奏の仕方を工夫することができるようにする。	ふしの重なり合いを楽しみながら、歌ったりきいたりしましょう。 きれいなひびきで合唱しましょう。 音の重なりを感じながら合そうしましょう。	パレード ホッホー ◎ きゆう友 空に雲に おどろう楽しいポーレチケ 茶色の小びん	11	
		生き生きと歌おう	・発声や呼吸の仕方に関心をもって歌い方を工夫したり、声を揃えて歌う喜びを味わったりすることができるようにする。	リズムにのって歌いましょう。	歌よ ひびけ グッデー グッバイ		5
巻末	みんなで楽しく		・各校が実態に即して弾力的に扱うことのできる教材。		ゆりかごの歌／みかんの花さくおか／せいくらべ		
	物語と音楽				風のカーニバル おかしの ゆめ 空と風のきっぷ 林の朝 あしたがあるさ つるのおん返し		
					君が代	時数 合計 60	

年間学習指導計画作成資料 第5学年

太字=核となる教材 ◎=鑑賞教材 ●=共通教材

大きな学習の流れ		題材名	題材のねらい	活動文	教材名	扱い時数のめやす
巻頭	学年の歌		・年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための歌唱教材。		Believe	
	・音楽活動の楽しさを味わって、学習への意欲を高めるようにする。	ふしの重なり合いを感じ取ろう	・声や音が重なり合う響きを感じ取って、表情豊かに歌ったり演奏したりすることができるようにする。 ・重なり合う各々の旋律の特徴を感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。	歌声のひびき合いを感じながら合唱しましょう。 歌と楽器のひびき合いを感じながら演奏しましょう。	● こいのぼり いつでもあの海は やさしい風に	7
	・声や音が重なり合う響きを感じ取ったり、アジアの伝統音楽に親しんだりするようにする。	アジアの音楽に親しもう	・旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、アジアの音楽に親しむようにする。	アジアのいろいろな国の音楽をききましょう。 ふしの特ちょうを感じながら、きいたり歌ったりしましょう。 日本のふしや楽器に親しみながら、おはやしをつくりましょう。	◎ アジアの国々の音楽 ◎ アリラン／まつり花 おはやしづくり ● 子もり歌	8
	・音色や響きの特徴や和音の響きの美しさを味わったり、これを生かして表現したりする力を育てるようにする。	いろいろなひびきを味わおう	・音色や響きの特徴を味わって、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・旋律と低音の響きを感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。	弦楽器の音をきき比べましょう 歌と楽器が重なり合うひびきを感じながら演奏しましょう。	◎ 美しきロスマリン／白鳥 わたり鳥と少年	5
	・八長調及びイ短調の視唱や視奏に親しみ、曲想を感じ取ったり歌詞の内容を理解したりして、表情豊かに表現する力を高めるようにする。	重なり合う音の美しさを味わおう	・和音の響きの美しさを味わって聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・和音の響きの変化を感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。	和音のひびきの移り変わりを感じながら演奏しましょう。 和音のひびきを楽しみながら合唱しましょう。 音が重なり合うひびきの美しさを味わいながら、きいたり合奏したりしましょう。	静かにねむれ それは地球 ◎ 威風堂々 第1番 //	9
		曲想を感じ取ろう	・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表情豊かに表現したりすることができるようにする。 ・曲想や歌詞の内容を生かして、表現の仕方を工夫することができるようにする。	短調の気分を感じて歌いましょう。 曲想を味わいながらききましょう。 曲想を生かして合奏しましょう。	秋にさよなら ◎ アイネ クライネ ナハトムジーク 第3楽章 自分の気持ちを曲で表そう。 ● 冬げしき キリマンジャロ	8
	・日本の歌曲の美しさを味わったり、これまでの学習を生かして、友達と一緒に気持ちをこめて表現する喜びを味わったりするようにする。	日本の音楽を味わおう	・歌詞と旋律のかかわりや人の声の特徴を感じ取って、日本の歌曲の美しさを味わうようにする。	言葉の美しさを味わいながら、日本の歌曲をききましょう。	◎ 浜辺の歌／待ちぼうけ／荒城の月 ● スキーの歌	5
		心をこめて演奏しよう	・心をこめて演奏したり、気持ちを合わせて表現したりする喜びを味わうようにする。	ひとつひとつの音を大切にしながら演奏しましょう。 歌詞の表す気持ちを大切に歌いましょう。	夕ぐれ 失われた歌 大空がむかえる朝 朝日をあびて	8
巻末	みんなで楽しく		・各校が実態に即して弾力的に扱うことのできる教材。		海／ほたるの光 ゆかいに歩けば／世界がひとつになるまで 明日に向かって／大空よ あなたののもとに 南風にのって／ふるさとの春 つばさをだいて 生命のいづき	
	物語と音楽			走れメロス		
					君が代	時数合計 50

年間学習指導計画作成資料 第6学年

太字=核となる教材 ◎=鑑賞教材 ●=共通教材

大きな学習の流れ		題材名	題材のねらい	活動文	教材名	扱い時間のめやす
巻頭	学年の歌		・年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための歌唱教材。		つばさをください	
	・音楽活動の楽しさを味わって、学習への意欲を高めるようにする。	ふしの重なり合いを味わおう	・声や音が重なり合う響きを味わって、表情豊かに歌ったり演奏したりすることができるようにする。 ・重なり合う各々の旋律の特徴を感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。	歌声のひびき合いを味わいながら合唱しましょう。 楽器のひびき合いを味わいながら合奏しましょう。	思い出のメロディー ● おぼろ月夜 ● ラバース コンチェルト	8
	・声や音が重なり合う響きを味わったり、世界の音楽に親しんだりするようにする。	世界の音楽に親しもう	・旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、世界の音楽に親しむようにする。	世界のいろいろな国の音楽をききましょう。 音楽のふん囲気を感じながら演奏しましょう。	◎ 世界の国々の音楽 こげよ マイケル アンデスの祭り ● われは海の子	7
	・音色や響きの特徴や和音の響きの美しさを味わったり、これを生かして表現したりする力を育てるようにする。	いろいろなひびきを味わおう	・音色や響きの特徴を味わって、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・全体の響きを感じ取りながら、楽器の音色を生かして演奏の仕方を工夫することができるようにする。	いろいろな音楽のひびきをきき比べましょう。 歌と楽器が重なり合うひびきを味わいながら演奏しましょう。 楽器の組み合わせを工夫して合奏しましょう。	◎ 小犬のワルツ／茶色の小びん ほか 星空はいつも 風を切って	7
	・八長調及びイ短調の視唱や視奏に親しみ、曲想を感じ取ったり歌詞の内容を理解したりして、表情豊かに表現する力を高めるようにする。	重なり合う音の美しさを味わおう	・和音の響きの美しさを味わって聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・三部合唱の響きを味わって歌うことができるようにする。	音が重なり合うひびきを味わいながら演奏しましょう。 合唱のひびきの美しさを味わいながらききましょう。 和音のひびきを味わいながら合唱しましょう。	● 勇気ひとつを友にして ◎ 赤とんぼ／箱根八里 ● 星の世界 ● ふるさと	8
		曲想を感じ取ろう	・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表情豊かに表現したりすることができるようにする。 ・曲想や歌詞の内容を生かして表現の仕方を工夫することができるようにする。	曲想を味わいながら、きいたり合奏したりしましょう。 曲想を生かして合唱しましょう。	◎ 木星 // 一日一歩の未来 広い空の下で	7
	・日本の音楽の美しさを味わったり、これまでの学習を生かして、友達と一緒に気持ちをこめて表現する喜びを味わったりするようにする。	日本の音楽を味わおう	・日本の楽器の響きや旋律の特徴を生かした音楽の美しさを味わうようにする。	楽器のひびきの美しさを味わいながら、日本の音楽をききましょう。	◎ 春の海 ● 越天楽今様	5
		心をこめて演奏しよう	・心をこめて演奏したり、気持ちを合わせて表現したりする喜びを味わうようにする。	ひとつひとつの音を大切にしながら演奏しましょう。 歌詞の表す気持ちを大切に歌いましょう。	メヌエット 思い出の曲をつくろう。 ◎ さよなら友よ さようなら	8
巻末	みんなで楽しく		・各校が実態に即して弾力的に扱うことのできる教材。		浜千鳥／あおげばとうとし 歌に 願いを／街は光の中に 歌よ ありがとう／にじを歌って この星に生まれて 愛のテーマ コンドルは飛んで行く 銀河鉄道の歌	
	物語と音楽			君が代	時数合計 50	